

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	ネモリズマブ注射剤の長期使用時の安全性および有効性に関する観察研究
当院の研究責任者 (所 属)	清島 真理子（皮膚科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	研究代表者：梶島健司（NPO法人 皮膚の研究健康機構） 研究参加機関 多施設
本 研 究 の 目 的	ネモリズマブの投与を受けたアトピー性皮膚炎患者を対象に、3年間の観察研究を行い、ネモリズマブの投与初期から中長期にわたる皮疹の観察から、より有効かつ安全な投与方法を探索する。
調査データ該当期間	本研究実施承認日～2029年9月30日
研究の方法(使用する 資料等)	カルテ上の診療記録、患者様からのアンケート（ADCT、POEM、DLQIスコア）、臨床検査値、皮膚悪化時の皮膚の写真
試料/情報の他の機関 への提供	写真データ（患者様が提供の同意をされた場合に限る） 提供先：研究事務局（NPO 法人 皮膚の健康研究機構）
個人情報の取扱い	情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。研究結果が公表される場合にも個人が特定されることはありません。
本研究の資金源(利益 相反)	マルホ株式会社からの資金提供 上記企業との利益相反はなし。
お 問 い 合 わ せ 先	皮膚科 清島 真理子
備 考	